

地域とともに

社会貢献活動

馬術部主催 伊勢原こども馬フェス 初開催



馬術部員のサポートを受け、乗馬を楽しむ親子

病気持ちつ子どもたちが 馬との触れ合い楽しむ

病気持ちつ子どもと家族を収める馬術部員が、馬や自然との触れ合いを楽しむ子どもたちと、体育会馬術部が11月23日、「伊勢原こども馬フェス2023」を開催した。秋晴れの伊勢原総合グラウンドの馬場を訪れた約10組の親子が、乗馬や餌やりを体験した。

イベントは、本学教職員のほか、医療関係者や団体、ボランティアの協力で初めて開催した。大きな馬を前に、最初はこわごわと触れるだけだった子どもたちだが、馬術部員のサポートで馬に乗ると満面の笑みを浮かべていた。

昼食のバーベキューを挟み、午後のホースショーでは全国大会で好成绩



餌やりを体験する参加者



イベント終了後、みんな笑顔で

かけになればと語った。4年次の女子部員は、「ホースセラピーに関心があったので良い経験になった。子どもたちと触れ合えたのも楽しかった」と笑顔で振り返った。実行委員の一人、国立成育医療研究センターの余谷暢之さんは、「病気を抱えて生活する子どもたちに、普段なかなか体験できない馬との触れ合いを、ご家族と一緒に五感で味わい、楽しんでほしい」と企画趣旨を説明。一般社団法人病院マーケティングサミットJAPANN代表理事で医師の竹田陽介さんは、「このイベントは、多様性を受け入れる力が発揮されるダイバーシティ・インクルージョンの観点からも意義深い」と話した。同じく実行委員の齋藤実文学部教授は、「医療関係者、ボランティア、学生などが協力し合い、これまでになかった地域貢献を実現できた」と手応えを語った。

経済・永江ゼミが準優勝

経済学部の永江雅和ゼミが、10月8日に生田キャンパスで開かれた大学対抗のディベート大会「渋沢栄一杯」で経済史や経営史を学ぶ五つのゼミが参加。量的



自分たちの主張を堂々とスピーチした

経済学部の永江雅和ゼミが、10月8日に生田キャンパスで開かれた大学対抗のディベート大会「渋沢栄一杯」で経済史や経営史を学ぶ五つのゼミが参加。量的

永江教授(後列左)とゼミ生



同大会に毎年出場している。競技ディベートは、相手を論破することではなく、第三者である審判をいかに説得するかで勝敗を争う。客観的で論理的な主張が必要で、花澤駿佑さんは「自分の考えを

ドラ1・西館昂汰選手が 高山伊勢原市長に報告



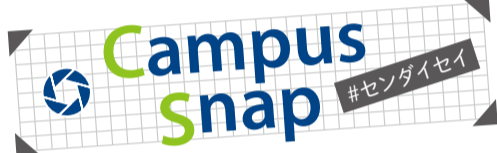
西館選手(中央)と高山市長(右)。市のマスコットキャラクター・クルリンも祝福

プロ野球ドラフト会議で東京ヤクルトスワローズから1位指名を受けた野球部の西館昂汰選手(経済4)が11月20日、齋藤正直監督とともに神奈川県伊勢原市役所を訪れ、高山松太郎市長に報告した。伊勢原市には本学の野球場や体育寮があり、西館選手は、12月8日には神田キャンパスを訪れ、松木健一理事長に謝意を伝えた。

日本心理学会「学部生・高校生プレゼンバトル」

人間科学部4年次 大水さん、小林さん ベストプレゼンター

日本心理学会第87回大会の若手の会企画「学部生・高校生プレゼンバトル」で、人間科学部心理学科4年次の大水拓海さんと小林美月さんがそれぞれベストプレゼンターに選ばれた。この企画では、学部生・高校生が心理学的なテーマでプレゼンテーション動画を作成し、若手の会によってベストプレゼンターが選出される。大水さんは「複雑系としてのうつ病の数理シミュレーション」について



個性豊かにキャンパスライフを送る
「イマドキ専大生」を紹介!



大学にはラフな格好で来ますが、趣味はファッション。バスケット部所属。応援してください!

経営学部
経営学科



日本語教育や音声学を研究しています

国際コミュニケーション学部
日本語学科



ネットワーク情報学部
ネットワーク情報学科

残り少ない学生生活を楽しみながら、研究にも熱中しています